

Ⅲ-11

# 指導に生きる評価を

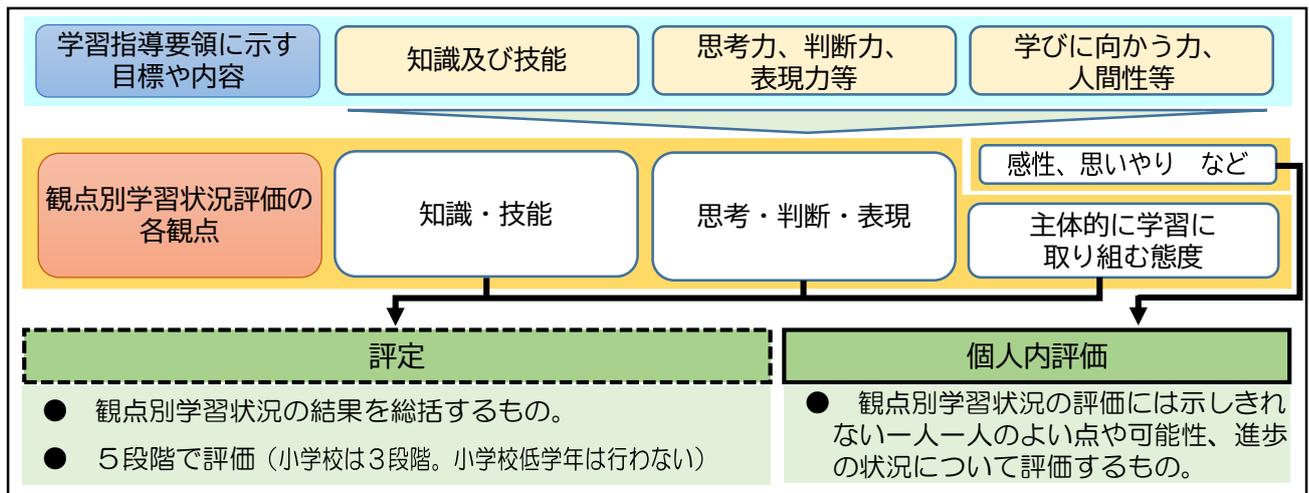
学習評価により、「児童生徒にどういった力が身に付いたか」という学習の成果を的確に捉え、教師が指導の改善を図るとともに、児童生徒が自らの学習を振り返って次の学習に向かうことができるようにすることが大切です。



「学習評価の在り方ハンドブック」国立教育政策研究所

## (1) 評価の観点

育成を目指す資質・能力の3つの柱に対し、目標に準拠した評価を推進するため、観点別学習状況の評価の3観点が以下のように整理されました。

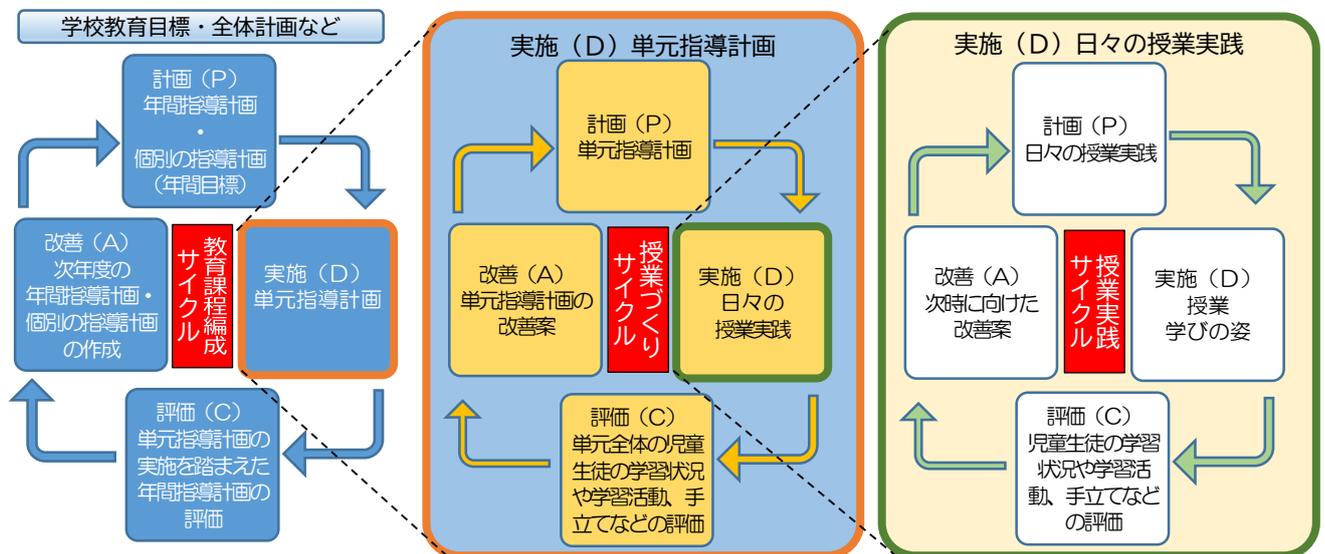


**障がいのある児童生徒など特別な配慮を必要とする児童生徒に関わる学習評価**

- 個々の児童生徒の状況に応じた評価方法の工夫改善を通じて、各教科等の目標や内容に応じた学習状況を適切に把握し、指導や学習の改善に生かしていく。
- 知的障がい者である児童生徒に対する教育を行う特別支援学校の各教科についても文章記述という考え方を維持しつつ、観点別の学習状況を踏まえた評価を取り入れる。
- 個別の指導計画に基づく評価等と指導要録との関係を整理することにより可能な場合には、指導に関する記録の大幅な簡素化を行う。

## (2) 教育課程の改善・充実に向けて

特別支援学級で行った授業や単元での学習評価を積み上げ、授業改善とともに、教育課程の改善にもつなげるカリキュラム・マネジメントを図ります。



### (3) 学習評価の円滑な実施に向けて

- 評価規準や評価方法を事前に教師間で検討し、学習評価の妥当性や信頼性を高めましょう。
- 時間のまとまりごとに評価場面を精選して児童生徒の学習状況を把握し、指導の改善に生かしましょう。
- 学習評価の方針を事前に児童生徒と共有し、児童生徒自身に学習の見通しをもたせましょう。

### (4) 指導と評価の一体化

児童生徒が主体的に学習するために、学習状況を把握しその情報を児童生徒にフィードバックするなど、評価を学習支援の手段とすることが大切です。

例えば、ルーブリック表を活用して評価規準を示すことにより、授業の目標が明確になり、児童生徒が次の段階へと学びを深めることが期待できます。指導と評価の一体化を図るには、児童生徒一人一人のよさや可能性に共感し、積極的に生かすよう指導するとともに、よりよい自己実現に向かうように評価していくことが大切です。

#### 《例》 ルーブリック評価による単元の評価規準（保健体育「フットベースボール」を例に）

	知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力、人間性等
単元の目標	きまりや簡単なルールを守り、基本的な技能を身に付け、簡易化したゲームを行う。	自分のチームの目標を見つけ、その達成のために友達と考えたことを他者に伝える。	友達と助け合ったり、場の用具や安全に留意したりして進んで取り組む。

#### 教師間の評価の視点を統一する

観点	単元の評価規準	目標の一部を達成する状態	概ね満足できる状態	十分に満足できる状態
知識・技能	きまりや簡単なルールを守り、基本的な技能を身に付け、簡易化したゲームを行っている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>ルールを知り、一つでも守ることができている。</li> <li>自分でボールを置いて前に蹴ったり、目の前に飛んできたボールをキャッチしたりすることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ゲームのルールを守ることができている。</li> <li>人のいないところにボールを蹴ったり、飛んできたボールをその場から動いてキャッチしたりすることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ゲームのルールを守り、友達にも伝えることができている。</li> <li>ゲームの流れを考えてボールの蹴り方を変えたり、友達がキャッチしやすいボールを投げたりすることができる。</li> </ul>
思考・判断・表現	球技についての自分やチームの目標を見つけ、その解決のために友達と考えたり、工夫したりすることを他者に伝えている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の目標を考慮することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の目標を考えたり、教師と一緒にチームの目標を考えたりすることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>チームの目標を友達と相談して決めることができている。</li> </ul>
主体的に学習に取り組む態度	きまりや簡単なルールを守り友達と助け合ったり、安全に留意したりして、自己力を発揮しながら取り組もうとしている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>教師の言葉掛けを聞いて、けがをしないで活動することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分がけがをしないで参加することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>参加する全員がけがをしないような言葉掛けや行動をしたりすることができる。</li> </ul>

#### 児童生徒用のルーブリック

学習評価の方針を事前に児童生徒と共有し、学習の見通しをもたせませう。



#### 《「フットベースボール」のエースをめざそう!》

ルーキー ★	レギュラー ★★	エース ★★★
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ ボールを前にける。</li> <li>○ 立って空中のボールをキャッチする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 人のいないところにボールをける。</li> <li>○ 飛んできたボールを移動してキャッチする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ ランナーを進めるために考えてボールをける。</li> <li>○ 友達がキャッチしやすいボールを投げる。</li> </ul>